



電子版機関紙 123号 発行責任者 瀬下 啓司

県連サイト <https://www.rosansaitama.com/>

三役会議題

参加者:瀬下、上野、橋本、岩岡

8月9日

・8.31評議会に出す資料(「埼玉労山・組織改革の方向について」「評議会用取り組み報告」)の内容について確認した。

・「埼玉労山・組織改革の方向について」は、事前に各加盟団体に配信する。

・評議会当日の理事の集合時間は12:45とした。

9月10日

・関東ブロック役員交流会の参加報告があった。

・「埼玉県の自然保護についての要望書」について検討し、次回理事会(9/24)に提案していくこととした。

・8/31評議会の議論を受け、主に有料化の企画における責任問題などについて、けやき法律事務所の南雲弁護士(元労山会員)に相談に行くこととした。

・規約・規定・要綱の改廃について、新旧対比表などを次回理事会(9/24)に提案していくこととした。

・岩・沢・山スキーについて、今後の「学校(教室)」の実施に向けて、「初心者向け」「次の段階」「岩人・沢人・シーハイル」の3段階の考え方で次回理事会(9/24)に提案していくこととした。また、ハイグレードハイキングや自然保護企画についても具体案を提案していく。

・報酬や手当については、理事長などを対象としたもの、全国連盟や関東ブロックなどの会議参加に関するもの、有料企画での講師謝金の3つに整理して、2026年度方針に盛り込めるように引き続き検討していく。

全国連盟

・第27回自然保護講座in青森 9/27(土)～9/28(日) 岩木青少年スポーツセンター(青森県弘前市)

メインテーマ 大型風力発電による自然破壊・環境破壊

講師 佐々木邦夫氏 北海道大学非常勤講師・北海道風力発電ネットワーク代表

参加費 8,000円(1泊2食)

9/27(土)講演会・地方連盟報告など 9/28(日)岩木山登山(交流山行)

瀬下、武笠(わらび山の会)、飯塚(秩父アルペンクラブ)参加。

・第19回全国登山者研究集会 11/15(土)～11/16(日) 新大阪ユースホステル(大阪府大阪市)

11/15(土)12:30受付開始 基調講演①「これからの労山」川嶋高志(全国連盟理事長) 基調講演

②「登山寿命の延長」石川昌(全国連盟副理事長・遭難対策部長) 分科会① 懇親会

11/16(日) 分科会② 全体討論・まとめ

☆分科会

「筋トレ」～筋肉トレーニングによる転落事故防止と登山寿命の延長、快適な登山について

「教育」～市民が求める多様な登山要求への組織体制と教育システムについて

「自然保護」～自然保護活動の推進について(大規模開発の問題点)

参加費 6,000円(1泊2食) 宿泊 新大阪ユースホステル

参加申込～別紙申込書にて全国連盟事務局へ、申込締切10/14(火) 瀬下参加。

県連全体

- ・関東ブロック役員交流会 9/6(土)～9/7(日) 茨城県つくばふれあいの里 瀬下参加。
- ・東京都連盟創立60周年記念行事 10/25(土) 東京都千代田区損保会館
記念講演会①平山コージ氏「クライミングにおける冒険性」12:00～14:00、記念講演会②佐々木大輔氏「スキー片手に世界の僻地を旅し、学んだこと」14:20～16:20、懇親会17:00～19:30
参加費 講演会1,000円、懇親会4,000円 懇親会に瀬下参加
記念講演会はまだ申し込みできるようです。東京都連盟のホームページから申し込みできます。
- ・関東ブロック自然保護交流集会 2026.1/17(土)日帰り 栃木県
古賀志山登山道整備状況の視察～地元NPOのご案内 詳しい内容は分かり次第発表します。
- ・埼玉労山組織活動研究合宿を受けて
7月の理事会から今後の埼玉県連盟のあり方について本格的に議論していく。7/31(日)の評議会で改革の骨子を会員の皆さんに提示し意見を伺った。大きな反対意見はなかったが、事故後裁判になった場合の対応などの質問があり、三役会議で弁護士に相談することとした。3月の総会に向け今後改革の骨子を具体化していく。会員の高齢化、会員減少の中、次世代を担う人たちに希望をもってもらえる組織にしていきたい。

事務局

- ・取り組み報告や理事会レジメの作成と理事への配信
- ・全国連盟などからの情報提供の各加盟団体への配信など
- ・加盟団体の「会報」の各加盟団体への配信
- ・理事会、講習会などの会場確保
- ・評議会の準備や記録作成
- ・2026年労山カレンダーの案内や受付

財政

- ・全国連連盟費第3期分納入

ホームページ

ろうさん彩登123号掲載

海外

11月23日に開催する海外山行報告集会の案内のチラシを作成中。9月25日に海外委員会を開催し、チラシが10月に各会へ配信されるよう取り組むと共に、報告集会に向けた準備の具体化をはかっていく。

登山学校

9/1運営委員会9/6岩登り机上講座9/7実技講座平戸の岩場実施。10/11-13テント泊体験上高地実施
予定10/27運営委員会予定

救助隊

9/6(土曜) 隊員3名によるクライミング訓練
 於・越生町非公開岩場
 9/8(月曜) 隊員2名によるクライミング訓練
 於・柴崎ロック

遭難防止安全対策

- ① 9月7日に、遭難防止・安全教育委員会の会議を行い、来年度より、別紙のような「岩登り学校・基礎」と「沢登り学校・基礎」を開校することにしました。
- ② 9月4日に、「山スキー学校講師会議」を開催し、昨年度の総括と今年度の方針を話し合いました。その結果、今年度も「山スキー学校」を開催することに決めました。現在、チラシを作成中です。
- ③ この間の活動報告と予定です。

活動報告

6/29奥多摩・鷹の巣谷出合付近で、沢のセルフレスキュー訓練を行いました。

7/12 平戸の岩場において、岩のセルフレスキューの訓練を行いました。

活動計画

9/27-28 「沢登り教室」の第2回目として、黒部・赤木沢に行きます。参加者は15人の予定です。

自然保護

・高篠峠植樹地下草刈り

5/25(日)に予定していた今年度1回目の下草刈りは雨天のため残念ながら中止とした。10/19(日)実施予定の秋の下草刈りにご協力をお願いいたします。

・グリーンハイク

全国一斉実施日6/1(日)。6/1(日)の実施でなくても大丈夫です。実施した会はブロックごとに結果を瀬下まで報告をお願いいたします。実施日、実施場所、参加人数、ゴミの量(kg)(可燃ゴミ、不燃ゴミ)

中部ブロック、南部ブロックは偶然実施場所が同じ越生の大高取山となった。山頂では短い時間であったが交流もあり楽しい時を過ごした。

・登山道整備 8.24釜伏山登山道整備(道標設置)実施、5名の参加で、山頂に90mm角材で自作した道標を地面に穴を掘り設置した。

・埼玉県自然公園指導員については、町田、橋本の2名継続。新規の募集があったが応募せず。

・埼玉県への自然保護に関する要望書(案)を作成し理事会に送り10月には提出したい。埼玉県は2024年度から埼玉県生物多様性保全戦略を進めている。

10月22日19:00- 自然保護委員会 ガスト大宮西口店 さいたま市大宮区桜木町1丁目1-8 OZ SAKURAビル2F

ハイキング

・4/23(水)の理事会での会議後は月に1回程度LINEにて会議を実施する。次回会議は9/8(月)。

・山筋ゴーゴー体操講習

11/23(日)10:00~12:00 高鼻コミュニティーセンター 講師 谷脇さん(埜歩歩富士見山の会)ほか

・地図読み講習山行

11/30(日)奥武蔵正丸周辺(西吾野~三田久保峠に向かう尾根)で実施。詳細は近く発表します。

ブロック活動報告

	会議日程		
西部	9月11日	大下	9月11日(木)19時30分～21時第三回定例会議。鍋交流ハイク(11月9日)場所:巾着田 鍋、ハイキングコース、参加人数の報告。スノーシューについて話し合う。2026年2月15日場所:長七郎山を予定。
南部	8月21日	富田	8月21日の会議において、秋の交流ハイキングを10月19日に中央線沿線の菊花山で行うことを決めた。
中部			今年度はグリーンハイク、地図読み山行、交流ハイキング、雪山山行を実施予定。 次回会議2025.10/2(木)LINEグループ会議19:00～。
北部		梅澤	なし

議題

○ 埼玉県の自然保護についての要望書

・別紙あり(2つ)橋本理事が埼玉県に提出する要望書と、埼玉県生物多様性保全戦略について、説明提案した。特に異論、意見なく、県に提出することにした。

○ 埼玉労山・組織改革の方向について(1)

- ・岩登り教室、沢登り教室、ハイグレードハイキング
- ・別紙あり(2つ)

資料について説明した。以下の幾つかの質問意見が出された。ハイグレードハイキングなど進めて欲しい。ハイグレードハイキングの参加者についての意見(どういう方が参加か、分け方はなど)、内容について、リーダー育てるにはそれなりの方を各会から出してもらう必要がある。リーダー養成講座をやればリーダー、リーダー層が育つ。県連の役目として横のつながりをつけて欲しい。県連に眠っている力を呼び起こして欲しい。質問としてクライミングに関する用語(トップロープ、マルチなど)についての質問が出され上野理事から説明した。有料の講習会についても、上野理事が案を説明した。関連して、有料講習会の賠償責任問題について、9月24日に熊谷市の南雲弁護士に相談した報告を、橋本理事、上野理事から報告。これについては労山の損害賠償制度があり活用することを確認した。毎年4月に手続き。

○ 埼玉労山・組織改革の方向について(2)

- ・規約・規定・要綱の改廃について
- ・別紙あり(4つ)

規約等の改廃について、岩岡事務局長から資料に沿って説明した。理事会は、4つの委員会の長と、登山学校、救助隊の代表が理事としてでることなどの意見があり、引き続き検討する。

○ 海外山行報告集会等

山中理事から、11月23日午後の海外山行報告集会について、別紙に沿って提案した。当日午前山筋ゴーゴー講習会

2年後に埼玉労山60周年で取組みの準備を始めなくてはならない。専門委員会も活発にしたい旨の意見が出された。

議題

○【報告】 評議会議事録

場所:市民会館おおみや 集会室8

時間:8月31日 13:30~16:30

議長:(富士見市峠山の会・西部)、(浦和くまざさ山岳会・中部)

書記:(三郷山の会・南部)、(ハイキングクラブ上里・北部)

1. 議事に入る前に

- ・事務局長より、開会を告げ、議長と書記の選出をした。
- ・資格審査より、評議員16人の出席報告があり、定数31人の過半数出席で本評議会が成立していることを確認した。
- ・本日の進行については、議事次第通りに進めることを確認した。

2. 議事

(1) 瀬下理事長より、理事長あいさつと2025年度のこれまでの活動報告と今年度のこれからの取り組みなどの報告があった。

(2) 続いて、瀬下理事長より、埼玉労山・組織改革の方向について(若者を迎え入れ、組織を活性化するために)の提案説明があった。

(3) 質疑応答・意見交換に入り、主に上記(2)について、「若者は忙しい、山に行くために集まっている、山以外で集まることは敬遠される」「日当を出すことによる責任リスク」「万が一事故の時に裁判になったら」「事故時には講師はお金をもらっているかを警察で一番に聞かれる」「役員手当には財源が必要になる、現状で捻出できるのか」「組織をコンパクトにする方向の検討はないか」「委員の出し方としてノルマ的な参加は」「連盟費を安くしてもらいたい」「労山運動の中で人は育っていく」「登山の文化を次の世代に渡したい」などの意見が出され、理事会として引き続き、本日提案説明の内容に、本日出された意見や要望を加味して検討し、2026年3月の総会に提案していくとの表明があった。

(4) 県連に望むことについては、登山祭典の開催要望と上記(2)に関連することが出された。

(5) 他団体に聞いてみたいことについては、「会議の頻度や開催の形」「ホームページ」「会員加入状況」「役員の選出方法」「入会の年齢制限」について、参加の全会から自会の状況説明があった。また、下山報告のついてのやりとりがあった。

以上で2025年度評議会は終了した。

○次回 理事会日程:2025年12月17日(水) 場所:浦和コミセン第10集会室 司会: 記録: